

ディスクボルト折損事故発生!!

新幹線の安全は大丈夫か!?

2010年 6月27日、300系新幹線電車F1編成（JR西日本所有）3号車No. 1タイヤのブレーキディスク取り付けボルト1本の折損が、東京仕業検査車両所の仕業検査で発見されました。

ブレーキディスクの亀裂の問題やブレーキディスク取り付けボルト折損の問題は、これまでJR東海労が新幹線の安全を守るために会社に対して問題提起してきました。しかし、会社は「安全には問題はない」としてこれまで真摯な議論を避けてきました。私たちは、今回の問題を受けてJR東海の安全に関する認識を明確にするために解明要求の申し入れを行いました。

<JR西>新幹線ボルト1本破損 運行に影響なし

6月28日10時42分配信 [毎日新聞](#)

27日午前6時ごろ、JR東海の東京仕業検査車両所（東京都品川区）が点検していたJR西日本の新幹線300系で、ブレーキディスクを固定するボルト1本（長さ約17センチ、直径2.6センチ）の頭部が折れてなくなっているのが見つかった。列車の運行に影響はなく、JR西日本が原因を調べている。

JR西日本によると、ボルトが折れていたのは16両編成の3号車。車輪とブレーキディスクを固定する鋼鉄製ボルト12本のうち1本が折損。24日の検査で異常はなく、26日までに、東京-名古屋2往復、東京-三島1往復、東京-新大阪1往復を走行したという。【川畑展之】

JR西300系新幹線 ブレーキ固定ボルト破損

6月27日21時5分配信 [産経新聞](#)

JR西日本は27日、同社所有の新幹線車両（300系、16両編成）で、ブレーキディスクを車輪に固定するボルトが1本破損しているのが見つかったと発表した。運行前の周期点検で判明し、タイヤに影響はなかった。

同社によると、ボルトは直径26.5ミリ、長さ17.4センチの鉄製。27日午前6時ごろ、東京都品川区のJR東海の検査車両所で検査中、車輪にブレーキディスクを固定する12本のうちの1本の頭部が折れてなくなっているのが見つかった。

破損したボルトは平成19年9月から使用。同社は腐食により折れた可能性があるため調べている。

安全確立のためにさらに闘おう!!